

児童目標は「かしこく・やさしく・前むきに」

西本梅小学校だより

基礎・基本の徹底と考える力の育成による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

〒622-0066 京都府南丹市園部町南八田中山17 TEL 0771-65-0014 FAX 0771-65-0662
 ホームページ（HP）もご覧ください <http://www.be.city.nantan.kyoto.jp/nishihonme-es/>



校門からの坂道を登って「もうすぐ終わり」というあたりで右上の林を見上げると、写真のようなユズリハが目にとまります。新しい葉ができる、入り替わるようにして古い葉が落ちます。それで新年を迎える縁起物になっています。人生も同様かも...

人権作文発表会・人権研修会 ご参加ありがとうございました



保護者の皆様には、ご機嫌よく年末をお迎えのことと存じます。先日は、何かとお忙しい中、児童の人権意見発表会の参観、続いてPTA人権研修会にご参加いただき、ありがとうございました。また、今回も子どもたちの発表に心温まるご感想を披露していただき、厚くお礼申し上げます。研修会講師としてご来校いただいた山下先生からメールが届きました。保護者の皆様へのメッセージでもありますので、許しを得て一部紹介します。

「先日は、講演会にお呼びいただきましてありがとうございました。

お子さんたちの発表を見て、私自身が忘れかけていた素直な心に気づかされました。私が話をするときに、お子さんたち皆さんが私の方へ向き直ってくださって、その態度に本当にびっくりしてしまいました。

保護者の方の熱心さにも、心打たれました。お目にかかれて嬉しかったです。

お話しさせていただきながら、子どもたちが一人ひとり、いろんな体験ができてうらやましいと申しました。その上『間』を身につけていて、自然な態度や表情からもていねいに育てられていると感じました。それらは、数値では測れないものですが、ご家庭と地域と学校とが一つになって大切に育てられているお子さんなのだと感じるには、十分のオーラでした。

もうひとつ西本梅小学校で感動したのは、校舎のどの窓も額縁のように紅葉を映していたことです。四季折々の自然に育まれる環境は、感性を養い、しなやかな強さを子どもたちに与えてくれることでしょう。」

外部の先生の目にこのように映った子どもたち。お世辞ではなく、ほんとうにこのように評価して下さった内容を、今学期の本校教育のまとめとします。

目次：

参観・研修お礼	1
山下先生の手紙	1
保護者アンケート結果	2
アンケート結果コメント	2
5大ニュース	3
行事予定・表彰	4
編集後記	4



大幅な人事異動でしたが、協力してがんばっています

教員定数の1名減少、目野講師の教員採用、松下教諭の新規採用からの3年経過、佐井教諭の転出までは、よくある規模の異動ですが、教頭や用務員の異動もあって、想定外の大規模な人事異動となりました。しかし、転入教職員はそれぞれ個性と力量を発揮し、教職員一同、一致協力してがんばってきました。林講師退任と石井教諭の復帰ということにも、2年生はよく順応し、おちついてしっかり学んでいます。保護者アンケートでも高い評価をいただき、有り難うございました。

3年生になった西本梅学くんのふるさと学習が進んでいます

南丹教育局管内（亀岡市・南丹市・京丹波町）小学校では、西本梅小学校より児童数が少ない学校はありますが、一つの学年が「0名」という学校は、ほかにはないようです。ですから、ご家庭の事情とはいえ、新3年生を目前にして水出圭くんが転校し、新3年生がいなくなったことは大きな出来事でした。（写真は昨年度1～3年生の図書館見学のもの）一つの学年が「一人もいない」ことに子どもたちがさびしい思いをしないように、また、ふるさとに生きることに自信とほこりをもつようにと考えて、西本梅学くんという人物像を想定し、学くんが「ふるさと学習をして、みんなに学校だよりで報告する」ことにしました。学くんの「ふるさと学習」は快調に進んでいます。

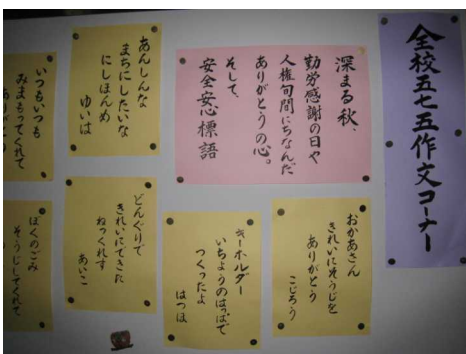


地域の皆様のお支えですくすく伸びる子どもたち

毎月の「お話ひろば」の皆様による読み語り、地域に出かけての学習や米作り体験。農芸高校様との交流、写真のような落花生収穫体験など地域の皆様にはさまざまにお支えいただき、ありがたく感謝申し上げます。おかげさまで子どもたちは、かしこく・やさしく・たくましく成長をとげつつあります。人間の生き方として大切な「前向きな意欲」も持ち、仲良く学校生活を送っています。

「よくがんばった」で満足しないで来年をめざして

2つの駅伝競走大会は、前号でお伝えしたような結果でした。練習では、6年生は最上級生としてベストをつくり、よきリーダーとなってくれました。全体練習も合理的で気合いも十分。選手たちは立派でした。ですから順位がどうのこうのということはないのですが、4・5年生の子どもたちは、駅伝大会直後から前向きな意欲をもって、朝の持久走運動に取り組んでいます。この子どもたちの姿勢に感動しています。



感じ取る力と言葉の力を高める575作文

春の「あかまつ仲良しラリー」では、すべての子どもたちが「575作文」を書きます。この伝統をふまえ、今年度は、一年間継続して「575作文」に取り組んでいます。月日を重ねるごとに子どもたちの感性と表現力が伸びてきています。国語の面だけでなく、作品の交流を通して、おたがいの作品を認め合い理解し合う場にもなっています。平成22年3月には、一人5作品を選んで「全校児童575作文集」にまとめます。ご期待ください。（関連記事：4ページに）

これからの行事予定

平成22年1月

- 6日(水) 始業式 地域児童会 短縮
登校指導(7日まで)
東12:18 西12:38 南12:23
- 7日(木) 給食開始 短縮 席書大会
東・南13:20 西13:40
- 8日(金) 平常授業開始
- 11日(祝) 成人の日
- 12日(火) 書き初め展(15日まで)
お話タイム 委員会活動
身体測定週間(15日まで)
- 13日(水) がんばりタイム
東14:25 西14:46 南14:23
- 15日(金) 演劇鑑賞(午前:低 午後:高)
安全点検 環境衛生検査
- 18日(月) あかまつ班あそび
- 19日(火) 避難訓練(地震)
- 20日(水) がんばりタイム 下校は13日と同じ
- 21日(木) 4~6年学力診断テスト(国語)
- 22日(金) 4~6年学力診断テスト(算数)
- 25日(月) 計算チャレンジ 子育て相談日
給食週間(29日まで) 集金袋配布
- 26日(火) 野中栄養教諭による指導
子育て相談日 集金日
- 27日(水) がんばりタイム 下校は13日と同じ
- 29日(金) 漢字チャレンジ
- 30日(土) 南丹美術工芸教育展(31日まで)

表彰されたお友だちの紹介 おめでとうございます

駅伝大会出場をめざす猛練習をたたえて

4年	4年
4年	4年
5年	5年
5年	5年
5年	5年
5年	5年
5年	6年
6年	6年

人権意見発表をたたえて

1年	「うれしいことばをいわれたよ」
1年	「うれしいことをいってもらいました」
2年	「いつもにぎやかな家」
4年	「けんかをして」
4年	「いじめは人をきずつける」
5年	「見つけたよ、まほうの言葉『ありがとう』」
5年	「友だちの、絆深める『ありがとう』そして『おはよう』『がんばって』」
6年	「ぼかぼか言葉は大切」
6年	「言葉というもの」

NHK全国俳句大会入賞内定通知をいただきました

5年	入選 「ホタルたちぼくらの川でお祭りだ」
6年	秀作 「セミの声ひびく本堂座禅会」

上記大会ではジュニアの部に36004句もの応募があり、入賞はそのうち約3%だそうです。

編集後記

今学期最終号をお届けします。残念ながら持久走大会の話題は掲載できなくなりました。3学期最初の学校だよりとなる第11号は、席書大会の話題、保護者アンケートに寄せられたご意見への回答などを内容とし、来年1月中旬にお届けする予定です。

しめ縄は、正月に迎える年神をまつる依り代(よりしろ:神がまねかれてのりうつるとされるもの)として飾られます。もちろん信仰の自由があるので各家庭の自由な習慣によるものですが・・・玄関に飾るものを(地方によって呼び名は異なりますが)玉飾りと呼び、台所やトイレなどに飾る略したものを輪じめと呼びます。玉飾りには、縁起物の紙だれだいたい・うらじろ・ユズリ八などが同時に飾られます。しめ縄のおもな材料は稲ワラであることが多く、稲作信仰と深い関わりがあると考えられています。クリスマス後から28日までに飾ることが一般的で、29日と31日に飾ることは縁起が悪いとさ

れています。31日に飾ることを一夜飾りといい迎え入れる神様に失礼になるらしいです。(参考にしたのはフリー百科事典『ウィキペディア』)冬休みは、古くからの習わしを子どもたちに伝えることが多くあります。このしめ縄の話題も参考にしてください。

新型インフルエンザの流行を防ぐための第5学年の閉鎖措置については、みなさまにご心配をおかけいたしました。5年生は15日に全員がそろい、元気に学校生活を送っています。学習の遅れについては、予備時数や放課後の個別指導などで回復を図っていますので、ご安心ください。

575作文について「指導の手応え」を感じていましたが、NHKから全国レベルで入賞内定をいただく作品が現れたことは、全校的な取組が成果を挙げているあかしであり、とてもうれしいことです。